

平成 30 年 6 月 26 日現在

機関番号：32702

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02703

研究課題名(和文) 日韓両言語の漢語動詞の習得を促進する正の要因と阻害する負の要因に関する基礎的研究

研究課題名(英文) The fundamental research on the Positive transfer and Negative transfer of Chinese Verbs in Japanese and Korean

研究代表者

尹 亭仁 (YOON, Jeongin)

神奈川大学・外国語学部・教授

研究者番号：70409879

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、両言語の漢語動詞における正の転移と負の転移の実状を調べるべく、韓日辞典及び日韓辞典を対象に語彙調査を行なった。韓日辞典の場合、正の転移が7割強だったことに対して、日韓辞典では9割強であった。

韓国人が日常生活で用いている漢語動詞は1600語前後であることが新聞社説の調査から明らかになった。さらに、日本及び韓国で市販・使用されている韓国語のテキスト(それぞれ4巻)の場合、異なり語数が380～570語前後であることが確認された。このような調査結果は今後韓国語の教材作成において一つの目安になると期待する。

研究成果の概要(英文)：In this study, we conducted a survey of Korean-Japanese and Japanese-Korean dictionaries. In the case of Korean-Japanese dictionaries, over 70% of transfers were positive but in the case of Japanese-Korean dictionaries, the number of positive transfers was over 90%.

A survey of newspaper editorials found that Koreans use around 1600 verbs borrowed from Chinese in daily life. Moreover, in the case of Korean languages textbooks sold/used in Japan and Korea (4 from each country), the number of different words amounted to around 380-570. These survey results should be of assistance as a guide when creating Korean language study texts in the future.

研究分野：日韓対照言語学

キーワード：日本語 韓国語 漢語動詞 正の転移 負の転移 辞典

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 韓国語と日本語は多くの漢語を共有している。そのため両言語の学習者にとって、母語が目標言語の習得を促進する「正の転移(positive transfer)」が起こりやすい。しかし、用法が一致しないものも少なくないため、母語が目標言語の習得に妨げになる「負の転移(negative transfer)」も起こる。

(2) 日本における韓国語教育は、2002年のワールドカップ日韓共催を皮切りに韓流ブーム、K-POPの人気などにより、学習者の底辺が広がりレベルも上がってきている。一方、韓国での日本語学習者は91万人に達し、海外で日本語を学んでいる学習者298万人(133か国)中、全体の31%を占めるなど世界1位の日本語学習者を擁している(国際交流基金日本語教育センターの調査、2006)。2000年以降、学習者は量的には減ったが、教育内容などの質的な面での検討が行なわれている(李明姫、「韓国における日本語教育の現況と展望」、2009)。

(3) このような時代の変化に対応すべく、研究代表者及び協力者は、日本における韓国語の教材にどのような漢語、とりわけどのような漢語動詞(漢語+hada)をどの段階で提示するのが効果的であるのか、検討を重ねたが、指針として使える基礎的研究がないという現実直面した。日本語学習者として、今も両言語の漢語動詞の「負の転移」に悩まされている研究代表者及び協力者は「負の転移」を含む漢語動詞のデータ整備の基盤づくりを目指すこととした。研究代表者は日韓両言語の漢語動詞における正の転移と負の転移の様相を把握すべく、執筆者として関わった『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(三省堂、2009)の漢語動詞の語彙調査及び分析に取りかかった。見出し語が約48,000語の「韓日辞典」の場合、2字漢語が辞書全体の語彙数の1割を

超える5,300語余り収録されていた。「正の転移」と「負の転移」につながりやすい漢語動詞は7対3の割合で推移しており、正の転移は2種類、負の転移は7種類に大別できるという結論に至った。

(4) さらに、韓日辞典の分析の結果を実証的に確かめるべく、日本で市販・使用されている韓国語の教材を2種類調べた結果、1種類(シリーズ2冊)においては漢語動詞が初級で11語、中級で43語が用いられていた。もう1種類の教材(シリーズ3冊)の場合は、漢語動詞が初級で8語、中級で23語、上級で99語が用いられていた。日本での韓国語教材の漢語動詞のこのような低い使用状況に疑問をいただき、ソウルの実績があり、評価の高い大学が外国人韓国語学習者のために作った韓国語教材2種類についても調べた。結果は教材A(レベル1:22語、レベル2:26語)、教材B(レベル1:12語、レベル2:16語)であった(いずれも名詞形のみ)の用法も含む)。日本語教育の現状も参考にすべく、日本で広く使用されている日本語教材『みんなの日本語初級』(2012)を調べたところ、が42語(全25課)、が78語(全25課)であった(いずれも名詞形のみ)の用法も含む)。これは『日本語基本動詞用法辞典』(1989)が取り上げた基本動詞728語のうち、2字漢語動詞165語の約73%に相当するものである。韓国語教材における漢語動詞の使用は日本語より少なく、「正の転移」を促す大きな要素が活用されていないことが確認された。

(5) 以上のような漢語動詞の使用状況から教育現場にいる研究代表者及び協力者は両言語の教材作成において1つの指針が必要であるとの結論に至った。上記の「韓日辞典」の分析の場合、2字漢語動詞に限定した語彙調査であり、両言語の漢語動詞は語構成が多様であるため、2字漢語動詞とは

異なる様々な対応の様相を呈すると予想された。日本語は訓読み，韓国語は音読みの1字漢語動詞も多く，接頭辞及び接尾辞により派生する3字漢語動詞の様子も明らかにする必要があった。さらに，韓国語は漢語形容詞も漢語動詞と同じ語構成になっているため，漢語動詞と一緒に調査することへの意義も感じられた。

## 2. 研究の目的

(1)日韓両言語の漢語動詞のデータの整備により韓国語教育・日本語教育において，「正の転移」をもたらす頻度の高い漢語動詞及び「負の転移」につながりうる漢語動詞のリストを教材や辞書の付録として提示することで「正の転移」を生かし，「負の転移」を防ぐ効果が期待できる。両言語における漢語動詞の対応は生産的，かつ体系的で，漢語名詞を語幹にしたまま「漢語+使役動詞」「漢語+受身動詞」にも派生していくので，教育的波及効果は非常に大きいと予想した。

(2)両言語の漢語動詞を理解する上で，学習レベルに合わせて必要な語彙数の目安が得られる。本研究では，両言語の教材における漢語動詞の語彙調査も行ない，学習レベルに即した漢語動詞の語彙数を提案し，教材や辞書作り，両言語の対照研究など言語教育への還元を目指した。

(3)本研究は，従来部分的にしか取り上げられなかった日韓両言語の漢語動詞の対照言語研究に資する基礎データが提供できる。これは，韓国語教育・日本語教育に貢献するのみならず，言語と言語の共時的関係について研究，解明するという大学の公的責任を果たすことにもなる。

## 3. 研究の方法

本研究では，上記の目的のために，研究代表者のこれまで辞書の編纂に携わった経験と辞書の膨大なデータを生かし，両言語の

漢語動詞を全面的に取り上げ，得られたデータを正の転移と負の転移に分類，漢語動詞の整備を行なうこととした。年次ごとの計画は下記のとおりである。

(1)初年度は『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(三省堂，2009)から，見出し語が約48,000語の「韓日辞典」を対象に漢語hada動詞(及び漢語hada形容詞)の語彙調査を行なった。調査の結果をみると，韓国語の漢語動詞及び漢語形容詞の語彙数は「7,140語」であり，これは辞書全体の語彙数の約15%に当たる。この数値は，使用語彙を中心に編まれた『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)の分析から得られた結果であるが，1つの目安として提示できると思われる。

(2)次年度は『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(三省堂，2009)から，見出し語が約30,000語の「日韓辞典」を対象に漢語スル動詞の語彙調査を行なった。漢語スル動詞の調査の場合，「両替する」「合図する」「相席する」「支度する」「都合する」など，一見漢語動詞に見える混種語動詞が混ざらないように注意を払った。そのため，分類・分析に予想以上の時間が費やされた。「工面する」「留守する」なども判断に時間を要した。いずれも頻度が高く，韓国語の対応において負の転移に繋がるので，学習者への提示に工夫が必要である。

(3)「日韓辞典」の対応の分析から明らかになったことの1つは，正の転移が9割を超えることである。これは韓日辞典の分析から得た正の転移である7割を超える結果である。本研究では，正の転移の判断に韓国の国語辞典の『標準国語大辞典』(1999)及び『東亜新国語辞典第5版』(2003)を参考にしたが，これらの辞書には理解語彙としても通用しないと思われる多くの漢語動詞が載っていたため，正の転移と分類した。「改竄する」「稽古する」「試問する」など

である。中には同じ漢語動詞でありながら、「割愛する」「詮索する」「返却する」のように意味のずれにより負の転移になっている動詞も含まれている。本研究では、この問題を全面的に取り上げるべく、現在約7,240語の日本の漢語動詞、とりわけ2字漢語動詞が約6,800語載っている『デイリーコンサイス国語辞典』(2010,三省堂)を中心に全数調査をしている。さらに、韓国における漢語動詞の理解語彙と使用語彙の実状を明らかにすべく、韓国で最も権威のある文学賞の1つである「李箱文学賞」の30年間(1986-2015)の受賞作品300編に用いられた漢語動詞の収集・分類・分析作業もすすめている。この2つの追加作業は相当な時間を要するものであるため、今後の研究の課題とした。

「日韓辞典」の語彙調査から浮き彫りになった負の転移の様相(日本語の漢語動詞に対して、韓国語に対応する漢語動詞がない場合、韓国語は名詞の場合、韓国語は形容詞の場合、韓国語はhada動詞ではなくdoida動詞の場合など)は現在論文としてまとめている。これにより日本人韓国語学習者が起こす母語干渉の現状がより説明しやすくなると思われる。

(4)3年目は、日本・韓国で市販・使用されている主な韓国語・日本語の教材を中心に漢語動詞の使用状況および頻度調査を行った。日本語の場合、日本で市販されたテキスト及び辞書が4種類(全部で12冊)、韓国で市販されたテキストが2種類(全部で8冊)である。韓国語の場合、日本で市販されたテキスト及び辞書が4種類(全部で10冊)、韓国で市販されたテキスト及び辞書が5種類(全部で12冊)である。両言語ともにテキストにおける漢語動詞の場合、シリーズを4巻まで出して多く使用されていても、異なり語数が380~570語前後であることが確認された。日本で市販・使用さ

れているテキストの方が韓国で市販・使用されているテキストより漢語動詞を多く提示していた。この結果は尹亭仁・崔英姫(2017)の新聞社説における漢語動詞の使用状況からすると約3分の1の語彙数である。

#### 4. 研究成果

(1)尹亭仁(2015)では、『デイリーコンサイス韓日辞典』(三省堂,2009)(見出し語:約48,000語)を対象に漢語hada動詞(及び漢語hada形容詞)の語彙調査を行なった。尹亭仁(2014)では、漢語hada動詞が全体で占める割合を約30%と予想していたが、実際得られた結果はその半分の15%ほどであった。これは2字漢語動詞が全体で占める割合から推定したものであったが、2字漢語hada動詞は飛びぬけて語彙数が多く、1字・3字・4字・5字・6字はそうではないことが判明した。今回の語彙調査で、韓国語の漢語動詞及び漢語形容詞の全体像が浮き彫りになった。従来部分的に取り上げられていた1字漢語動詞や3字漢語動詞が全体の中でどれくらいの比重を占めるものかが明らかになった。1つの目安ではあるが、2字漢語hada動詞及び2字漢語hada形容詞が全体の漢語述語の中で88.3%を占めていることが分かった。漢語動詞の半分近くになると見込まれていた漢語形容詞は全体の2割ほどしかなかった。2字漢語形容詞が漢語述語の全体の語彙数で占める割合が2%ほどであることは驚きであった。1字漢語動詞や漢語形容詞は、語数は少ないが、頻度は低くなかった。3字漢語動詞も語数は2字漢語動詞に比べるとはるかに少ないが、接頭語(特に「再-」)と接尾辞(特に「化-」)を用いての派生力、言い換えれば生産性は高いことが明らかになった。語彙調査及び分析の結果として「韓日辞典漢語動詞データ」を作成した。

(2)『デイリーコンサイス日韓辞典』(三省

堂, 2009)(見出し語: 約 30,000 語)を対  
象に漢語スル動詞の語彙調査を行なった。  
日本語は韓国語と違って, 3 字漢語スルを  
見出し語として辞書に載せない傾向が強い  
ことが判明した。『大辞林』(三省堂, 2005)  
の見出し語は 23 万語を超えるが, 接頭辞や  
接尾辞からの派生である「再手術・簡略化・  
確実視・反比例…」などは載っていない。  
『大辞林』より規模の小さい韓国語の辞書  
には載っている。「大{おお}掃除する」・「大  
{だい}活躍する」・「長{ちょう}嘆息する」・「長  
{なが}電話する」のように漢語と混種語と  
いった語構成における日韓両言語の相違に  
注意を払った。同じ 2 字漢語動詞であって  
も接頭辞の読み方によって漢語と混種語に  
分かれるのである。「負の転移」に繋がる「影  
響する」「故障する」「始末する」など「漢  
語 hada」が対応しない「漢語スル」のリス  
トは多くの日本語学習者に役立つと思われ  
るので, 研究会・学会で積極的に取り上げ  
ていく。語彙調査及び分析の結果として「日  
韓辞典漢語動詞データ」を作成した。

(3) 尹亭仁(2016), 尹亭仁(2017)では,  
韓日・日韓対訳小説の場合, 韓国語は日本  
語より 2 倍以上の漢語動詞を用いていると  
の調査結果が得られた。尹・車(2013)で,  
『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』  
(2009)の見出し語の対応に見られる日韓  
両言語の 2 字漢語動詞の負の転移は 3 割弱  
であると述べられている。今回の対訳小説  
の場合は負の転移の比率が 4 割弱という結  
果が出た。さらに, 辞書などのデータから  
得られる「語彙的対応」に比べ文脈のある  
「意味・統語的対応」においては 3 割以上  
正の転移の比率が下がる, という新たな目  
安が得られた。この傾向はジャンルによっ  
ても違うと思われるので, 比較のために追  
加調査が必要である。

(4) 尹亭仁・崔英姫(2017)では, 韓国の  
『中央日報』の社説の 1 年分(2016 年)を

対象に語彙調査を行ない, 韓国語の漢語動  
詞の使用状況および音節ごとの語構成の特  
徴について取り上げた。この語彙調査で,  
辞書に載っている漢語動詞の使用状況, す  
なわち韓国語の漢語動詞の実際の使用語彙  
の現状が浮き彫りになった。今回の『中央  
日報』の社説の語彙調査の結果から, 韓国  
人は日常生活において 1,600 語前後の漢語  
動詞を使用し, 理解していると考えられる。  
歴史学や医学など専門分野ではこの限りで  
はないと思われる。この結果は『朝日新聞』  
を対象に調査を行なった小林英樹(2004)  
の調査結果が示した異なり語数 1,750 語に  
非常に近く, 日韓両言語の新聞社説におい  
て, 使用語彙数に大差はないことが確認さ  
れた。さらに, 1 字漢語動詞や 3 字漢語動  
詞が全体の中で占める比重についても状況  
を把握することができた。

今後, 本研究から得られた知見やデー  
タを足掛かりに, 日韓両言語における漢語動  
詞の語彙調査, とりわけ使用語彙の調査を  
続ける計画である。本研究の成果は, 1,000  
人近くの履修生を抱えている本務校の韓国  
語の授業及び教材作成・辞書作りに積極的  
に活用する予定である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者, 研究分担者及び連携研究者に  
は下線)

[雑誌論文](計 4 件)

尹亭仁・崔英姫(2017)「韓国語の漢語動詞  
の語彙調査 『中央日報』の社説(2016 年  
1~12 月)の分析を中心に」『神奈川大学  
言語研究』第 40 号, pp.129-151, 神奈川大  
学言語研究センター[査読有]

尹亭仁(2017)「日韓両言語における漢語動  
詞の対応をめぐって(2) 日韓対訳小説を  
一例として」, 『人文学研究所報』第 58 巻,  
pp.67-79[査読無]

尹亭仁(2016)「日韓両言語における漢語動  
詞の対応をめぐって(1) 韓日対訳小説を

一例として」,『人文学研究所報』第 57 巻,  
pp.61-72[査読無]

尹亭仁(2015)「韓国語の漢語動詞・漢語形容詞の語彙調査 『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009,三省堂)の分析を中心に」,  
『人文学研究所報』第 55 巻, pp.21-30[査読無]

〔その他〕(計 1 件)

三省堂編修所(編)(2017)『デイリー日韓英辞典』[カジュアル版](校正:尹亭仁)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

尹 亭仁 (YOON, Jeongin)  
神奈川大学・外国語学部・教授  
研究者番号: 70409879

### (2) 研究分担者

高木 南欧子 (TAKAGI, Naoko)  
神奈川大学・外国語学部・特任准教授  
研究者番号: 70649160

### (3) 研究協力者

文 彰鶴 (MOON, Changhak)  
韓国外国語大学・日本語文化学部・助教授